

株式会社東芝 社会インフラシステム社

環境インフォメーションレター

このレターは、株式会社東芝 社会インフラシステム社に関係する全ての方およびご家族の方に、環境に対する取り組みを紹介し、環境活動への参加と理解を深めていただくことを目的として発行しています。

3R推進月間とは

実施期間: 2011年10月1日～2011年10月31日

毎年10月は国が定めた「3R推進月間」です。3R(スリーアール)とは、資源の無駄遣いをなくす「Reduce(リデュース)」、使えるものを再使用する「Reuse(リユース)」、そして、資源を再生利用する「Recycle(リサイクル)」のことであり、限りある資源を有効に使う「循環型社会」のキーワードです。

不要なものはもらわない・買わない「Refuse(リフューズ)」、修理して使う「Repair(リペア)」を加えて「5R」と呼ぶこともあります。

3R推進月間に合わせて、全国で関連のイベントが開催されますのでぜひお出かけ下さい。



上図: 3Rキャンペーンマーク

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会より

◆【ご紹介】第6回 3R推進全国大会 ◆

この大会は、国民、行政、事業者を対象として、循環型社会形成に関する知識や経験を交換する場として、毎年1回開催されているイベントです。今年は「一人ひとりが行動するエコ」を大会コンセプトに、講演会の実施やブースの出展など、来場者体験型のイベントが行われます。一人ひとりの取り組みで、ごみ減量化やリサイクルなど、ごみゼロ社会の実現や循環型社会の形成に向けた活動を推進していきましょう。

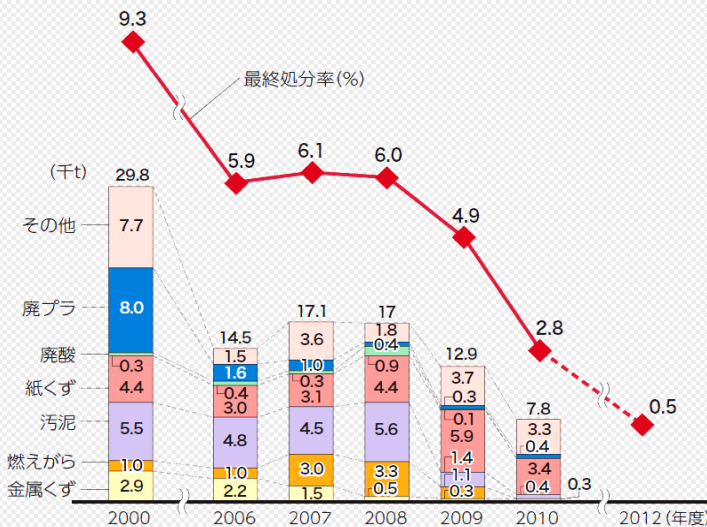
開催日: 平成23年10月28日(金)～10月30日(日)

会場: 京都市勧業館みやこめっせ

URL: <http://www.3r-kyoto.jp/index.html>

東芝グループでは

■ 廃棄物最終処分量と最終処分率の推移



◆ 廃棄物最終処分量と最終処分率の推移

東芝グループでは、工場などで発生した有価売却物を含む廃棄物を極力リユース・リサイクルして最終埋立処分量をゼロとする廃棄物ゼロエミッション*を、2010年度までに全拠点で達成する目標を立てています。

2010年度はゼロエミッションを83%の拠点で達成いたしました。今後は、リサイクルに関する制度やインフラが未整備な海外拠点における進捗が遅れていることから、地元行政や企業との情報交換など海外でのリサイクラー発掘や育成につながる活動をよりいっそう進めるなど、継続的に取り組んでいきます。

*ゼロエミッション: 事業活動に伴って生じる副産物やその他の発生物すべて(総発生量)に対し、各種処理後の埋め立て処分量を0.5%未満にすること(東芝グループでの定義)

社会インフラシステム社の事業紹介:(株)テルム

総合環境ソリューション企業として、資源循環型社会の実現に貢献

株式会社テルムは、東芝グループの総合環境ソリューション企業として、環境関連分析、土壌・地下水の浄化などを行う環境エンジニアリング事業、廃棄物・施設管理のアウトソーシング受託などを行う環境マネジメント事業、そして、資源リサイクルを中心とする環境リサイクル事業を展開しています。

環境リサイクル事業では、使用済み電気・電子機器製品のリサイクル、使用済み廃家電のリサイクル、半導体包装材料のリユースとさまざまな使用済み廃製品の再資源化を、同社の事業所(入舟事業所、三重事業所、姫路リサイクルセンター)で行い、3Rの推進、ゼロエミッション、資源循環型社会の実現に貢献しています。同社の資源リサイクルは、手分解と機械破碎のベストミックスで、高いリサイクル率を維持していることが大きな特徴です。昨年は、家電エコポイント制度の効果により、使用済み廃家電の入荷台数が大幅に増え、年間で過去最高の入荷量となる120万台を突破し、再資源化に大きく貢献しました。

今後も幅広くお客様のニーズに応じていけるよう、資源物の回収体制の強化と資源選別の高度化に取り組んでいます。

株式会社テルム 入舟事業所における資源リサイクルの模様



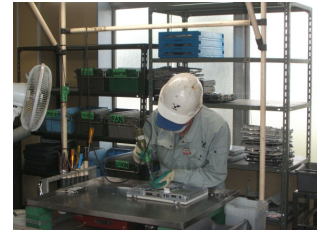
使用済み廃家電製品のリサイクル風景



使用済み電気・電子機器製品の
リサイクル風景



半導体包装材料のリユース風景



使用済み廃パソコンのリサイクル風景

また、東芝ホームページでは、西日本家電リサイクル(株)で行われているリサイクルの様子を動画で紹介しています。迫力ある映像で再資源化の様子をお楽しみください！

http://www.toshiba-smartcommunity.com/JP/#/technology_water_recycle

ご家庭でできる3R

(経済産業省 3R政策HPより)

1. リデュース

- ・必要な分だけ買う。
- ・買い物をするときはマイバッグを持参する。

3. リサイクル

- ・市町村や地域単位で実施する古紙、びん、アルミ缶、スチール缶などの分別回収の取り組みに協力する。

2. リユース

- ・リターナブル容器を選ぶようにする。
- ・不用になった服はリフォームしたり、フリーマーケットに出す。
- ・家電製品などが故障した時、修理すれば使えるものであれば修理して使う。
- ・再生部品を用いた機器類を使う。

一般的に、日本人は一人当たり毎日1kgのゴミをだすと言われています。一家庭では年間1トン以上。一人ひとりが、少しずつゴミを減らしていく努力を忘れないようにしたいですね。

- 「パソコン」をメーカーに回収してもらうことや「小形二次電池」を回収ボックスに持って行くことで資源の有効活用に協力することができます。



ご紹介 ☆資格にチャレンジ☆

eco検定(環境社会検定) <http://www.kentei.org/eco/>

試験日程:2011年12月18日(日) 申込期間:2011年10月4日(火)~2011年11月4日(金)

3R・低炭素社会検定 <http://www.3r-teitanso.jp/index.html>

試験日程:2012年1月8日(日) 申込期間:2011年11月1日(火)~2011年11月30日(水)

E C O C O L U M N 「東芝科学館」に行こう!

今年開館50周年を迎えた東芝科学館は、“人と科学のふれあい”をテーマにした文化活動拠点です。最先端の科学技術を体験し、理解できるよう、様々な工夫が施されています。環境問題を考えるきっかけ作りになればと、パソコンの解体を体験できるコースもご用意しています。ゴミの増加やゴミ処理場の不足、家電の不法投棄などが社会問題となっている中、東芝科学館で、リサイクルについて考えてみてはいかがでしょうか。

http://kagakukan.toshiba.co.jp/shiru/school_trip_j.html#trip05